

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第136回

公益社団法人 家庭問題情報センター はせがわ てつや
長谷川 哲也

未成年の子のいる元夫婦とコロナ禍

麻衣さんは3年前に夫の拓也さんと離婚しました。当時保育園の年長組だった和真くんは麻衣さんが引き取り、養育費や面会交流の取り決めをしました。和真くんの親同士として落ち着いた関係でしたが、新型コロナウイルス感染拡大以降徐々に変わり、困り果てた麻衣さんが相談に來られました。

麻(麻衣) 離婚するときはよく話し合

い、けっして憎みあって離婚するような形ではなかったと思います。これからはお互い和真の親同士としてやっていこうと。

カ(カウンセラー) お互いに納得した

上で離婚されたということですね。これからは和真くんの親同士としてやっていこうと。理想的ですね。

麻 ええ、まあ順調に行っていました。

養育費は毎月きちんと振り込んでくれましたし、月2回の面会交流も、和真の体調や都合に合わせて柔軟にやり、和真も父親と会うのをとても楽しみにしていました。

麻カ それが変わってしまったのですね。ええ、コロナの感染拡大で緊急事態

宣言が出るころからですね。最初は新型ウイルスのことが何も分からず、ただ不安でした。マスクを買うのに並んだりして。

カ 誰にとっても未経験のことで、どうしたらいいのかわかりませんでしたからねえ。

麻 最初のうちは、和真の父親もいろいろ相談に乗ってくれていました。面会も「感染が心配だからと、今は無しにしよう」と彼の方から言ってくれたりしたのです。ただ、いつまでも収まらない状態で先行きが見えず、私も迷っていたのですが、彼の方からそろそろいいんじゃないかって言われて。

カ ええ。皆さんそのことでは苦労されていますよね。

麻カ それでもなんとか決めた約束どおりにするようにし、会える回数が減った分、テレビ電話で交流できる機会を作ったり、気を使ったつもりです。ところが、その後しばらくして彼の方から「コロナの関係で給料が減ったので、養育費を減額してほしい」と、

麻 親が高齢なこともあって、けっして

コロナには気を使っています。再開するのはいいけれど、人込みを避けて時間を短くしてほしいことと、回数を減らしてほしいと伝えました。そうしたら、一応、理屈では納得してもらえたようです。ただ、不満は残ったのでしよう。その後、何かぎくしゃくしたものを感ずるようになりました。

麻カ そうなんですか。

それでもなんとか決めた約束どおりにするようにし、会える回数が減った分、テレビ電話で交流できる機会を作ったり、気を使ったつもりです。

ところが、その後しばらくして彼の方から「コロナの関係で給料が減ったので、養育費を減額してほしい」と、

さらって来てきたんです。ショックでした。経済的には全く余裕が無く、養育費はとても頼りにしています。コロナの関係で養育費がある程度減ることは仕方ないかもしれませんが、彼の言い方に、和真のことを本当に考えているのかと不信感を覚えました。

力 仕方ないと最終的に了承はしたのですが、彼との間の歯車が一段とかみ合わなくなってきました。

カ お子さんのためにも良い関係を保とうと、面会交流では気を使っているのに、養育費の減額の話が突然出てきて、関係がさらに逆方向に進んでしまった。困りましたね。

麻 そうなんです。先日、さらに決定的なことがあって。

カ どうされましたか。
麻 同僚の男性で、仕事でよく相談に乗ってもらう方がいるのですが、別に交際しているとかそういう関係ではありません。和真もその方のことを知っていて、けっこう親しくさせていただいているのです。どうも、父親と会っているときにその方のことを和真が話題にしたらしいのです。

カ どうしてそれが分かったのですか。和真が最近習い事を始めたいというので、そのことで費用の援助をお願いできないか、彼に電話で相談したので

す。すると「こっちだってぎりぎりです。生活していて余裕が無い。和真の話だと、最近、交際している男性もいるよーうだし、そこから援助してもらったかどうか」などと言うのです。一瞬何のことか分からず啞然としました。すぐに全くの誤解だと強く抗議したのですが、売り言葉に買い言葉となり「和真のことを思ってくれもしない父親ならもういい。今後は養育費も期待しないし、和真とも会わせたくない」などと言って、その勢いのまま電話を切ったのです。

カ つい感情的になってしまったのですね。本当に反省しています。このやり取りを隣の部屋で和真が聞いていたので。泣きべそをかいていました。ものすごく後悔して、すぐに抱きしめて和真が悪いんじゃないよと伝えました。親として失格なことをやってしまいました。

カ それでお悩みになっているのですね。
麻 はい。和真を巻き込んでしまいました。このままでは和真のためになりません。

カ なるほど。それではこれからどうしていこうと？

麻 やはり、彼ときちんと話し合わなければと思います。養育費が無ければとてもやっていきませんし、面会を無く

したら和真がいっそう傷つきます。麻衣さんは本当に子どもさんのことをよく考えていらっしやいますね。

麻 そうでしょう。でも彼の方がちゃんと理解してくれるか心配です。

カ これまでのお話を聞いていると、お二人で解決できないようには思えません。また、麻衣さんご自身が何をすべきかよく理解されている。

でも、どうしても話し合いが難しいと感じられたら、無理せず家庭裁判所の調停等を利用することもよいと思います。調停は費用も安く、専門知識が無くてでもご自分で手続きができます。そのようなときは抱え込んでしまわないことがいいと思います。

麻 ありがとうございます。話を聞いていただいて、ちょっと元気が出ました。調停も難しいものではないのですね。頑張ってみます。

.....
カ コロナ禍でこれまでの日常が失われ、先行きが見えにくい中、麻衣さんのように、安定していた離婚後の親同士の関係がぎくしゃくすることは少なくありません。和真くんのためにも父母の関係が無事に修復されることを願ってやみません。

